

地域づくりネットワーク会議 ニュース

～ 第15号 ～

第10回ワーキング会議

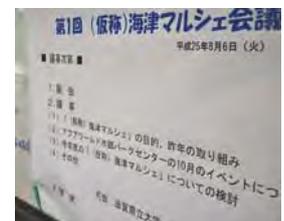
第1回『「(仮称)海津マルシェ」会議』を開催しました！！

地域の人々に親しまれ、さまざまな人々に有効活用される「(仮称)大江緑道」の魅力づくりの方策を検討していくため、地域づくりネットワーク会議を実施しています。

去る平成25年8月6日(火)、アクアワールド水郷パークセンターにおける地域特産品の物販社会実験「(仮称)海津マルシェ」について議論を深めました。その内容や参加者の意見をお伝えします。

■ 第10回ワーキング会議の概要

日時：平成25年8月6日(火) 10:00～11:30
 会場：アクアワールド水郷パークセンター内レストハウス2階
 参加者：物販社会実験関係者、参加者 20名
 主催：国土交通省中部地方整備局木曾川下流河川事務所
 共催：海津市



■ 討議内容

- (1) 昨年の海津マルシェの総括
- (2) 今年の「(仮称)海津マルシェ」について
実施目的、体制、名称、日程などについて
- (3) 当日までのスケジュール

司会・進行：滋賀県立大学 客員准教授 森川 稔 先生



■ 昨年の海津マルシェの総括

□ 昨年の概要

- ・日時：平成24年10月20日(土)、21日(日)
 - ・場所：アクアワールド水郷パークセンター内レストハウス周辺
- ※アクアワールドの「ハロウィーン体験」に合わせて実施した。

□ 意見、反省など

- ・焼きそばや焼きとうもろこしなどがよく売れた。
- ・商品の流れ、見せ方、利用者導線に沿った店舗配置がうまくいった。
- ・物販目当てではなく、ハロウィーンパレード目当てのお客様がほとんどだった。(約1000人)
- ・PRはホームページと当日のチラシなどだった。パレードに頼らず集客をめざすには、宣伝の強化が必要。
- ・アクアワールドは飲食サービスが課題。ここでしか食べられない物があると良い。例えば「地域産のものを食べられる」ことがPRになる。



■今年の「(仮称) 海津マルシェ」について

□「(仮称) 海津マルシェ」の目的

公園で物販を行うには様々な制約がありますが、社会実験を通じて地域の方と協働で地域産品を販売することにより、以下のような効果をめざしていくことを確認し、目的を共有しました。

- (仮称)大江緑道の魅力アップと集客を図る
- アクアワールド水郷パークセンターの有効な活用方を模索する
- (仮称)大江緑道の魅力づくりの担い手を見つけ、仲間を広げる
- 海津の特産品を開発・販売することで、地域の活性化と来客との交流を高める

□実施体制について

昨年の体制を基本に、連携協力体制を広げ強化していくことを確認しました。

□販売会の名称

以下のような意見が出ました。

- ・「海津マルシェ」という名前は興味を惹くが、わかりにくい。地域の物産販売会であることが伝わる、わかりやすい副題を付けてはどうか。
- ・「海津」とつくのは、地域性のアピールになって良い。
- ・単なる市場ではなく、食、環境、体験、場所などを活かしたコンセプトを打ち出したい。

□販売会の日程

以下のような意見が出ました。

- ・アクアワールドが10月に予定している「(仮称) 秋の実り祭り (ハロウィン体験)」と連携したい。
- ・「秋の実り祭り」では毎週末にイベントが開催される予定で、各週に様々なテーマが設定されている。
- ・10月4週目に予定される「(仮称) ハロウィンパレード」との同日開催は、海津市の「産業感謝祭」が重なっているため、物販のコンセプトにも合致する、3週目の「(仮称) 手づくりハンドメイド市」との同日開催が理想だろう。



<会議のまとめ>

- ①今年の物販社会実験は、10月19日(土)、20日(日)に実施
- ②実施メンバーと実施体制案は昨年をベースに更に連携や仲間を広げる
- ③販売会の正式名称は「海津マルシェ」に、わかりやすい副題を考える

- ・次回「海津マルシェ会議」の日時については、次のように決定しました。

○第2回『海津マルシェ会議』 (※関係者主体の会議となります)
開催日時：平成25年9月6日(金) 10時00分～
開催場所：アクアワールド水郷パークセンター レストハウス2F



発行：国土交通省 中部地方整備局 木曾川下流河川事務所 河川公園課
TEL：0594-24-5719
<http://www.cbr.mlit.go.jp/kisokaryu/>